

予防接種スケジュール

2024年4月1日～、横浜市

●不活化 ◆生ワクチン

ワクチン名	定期接種(公費)						任意接種(自費)
公費で受けられる年齢	●肺炎球菌 2か月～5歳未満	●五種混合(DPT+ポリオ+Hib) 2か月～7歳6か月未満	●B型肝炎 ～1歳未満	◆BCG ～1歳未満	◆ロタウイルス 出生6日後～24週0日まで	◆麻疹/風疹混合(MR) I期:12～24か月未満 II期:5～7歳(小学校入学前の1年間) ◆水痘 12か月～36か月未満	
標準的な接種年齢	<p>2か月</p> <p>●肺炎球菌 ●五種混合 ●B型肝炎</p> <p>4週間～ 3～8週間 4週間～</p> <p>3か月</p> <p>●肺炎球菌 ●五種混合 ●B型肝炎</p> <p>4週間～ 3～8週間</p> <p>4か月</p> <p>●肺炎球菌 ●五種混合</p> <p>5か月</p> <p>◆BCG</p> <p>7か月</p> <p>60日以上あけて 1歳～1歳3か月頃 6～18か月あけて</p> <p>●B型肝炎</p> <p>1回目から20週以上あけて</p> <p>おたふくかぜワクチン 1歳以降に、1回目を受けておくとよいでしょう</p>						
1歳～2歳	●肺炎球菌 ●五種混合				◆MR I期 12～24か月未満	◆水痘 1回目 12～36か月未満	◆おたふくかぜ 1歳～
3歳				◆日本脳炎 I期:6か月～7歳6か月未満 II期:9歳～13歳未満 ●I期1回目 ↓ 1～4週間 ●I期2回目 約1年後 ●I期追加		◆水痘 2回目 12～36か月未満	
4歳							予防効果を確実にするために、MR II期と同時期に、おたふくかぜ2回目の接種が
5～7歳					◆MR II期 5～7歳(小学校入学前の1年間)		◆おたふくかぜ ●三種混合(5回目) ●ポリオ(5回目)
小学4年生(9歳)				●II期			百日咳およびポリオの抗体価が低下してくるので、追加接種が推奨されています。
小学5、6年生	●二種混合 11歳～13歳未満						
小学6年生～高校1年生相当の女子				●子宮頸がん予防(シルガード9®) 小学6年生～高校1年生相当女子 ●1回目 ↓ 1か月後 ●2回目 ↓ 5か月後 ●3回目			接種後に持続的な痛みを訴える例がまれにあります(10万回接種あたり、1～2人)。 平成9年4月2日～平成20年4月1日生まれの人は、救済措置として公費接種が可能です。(※令和7年3月31日までの救済措置です) ※初回接種時の年齢が15歳未満では、6か月あけて2回で終了にできません。

●不活化ワクチン: 次に他の種類のワクチンを受けるときは、翌日には接種可能です。
 ◆生ワクチン: 次に他の種類の生ワクチンを受けるときは、4週間以上間隔を教えてください(◆生ワクチンと◆生ワクチンの間)(※ロタウイルスの場合は、翌日から他の種類のワクチンを接種できます。)